



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社CKサンエツ

上場取引所 東

コード番号 5757 URL <http://www.cksanetu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 釣谷 宏行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 松井 大輔

TEL 0766-28-0025

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	57,244	△12.0	3,210	△15.2	3,407	△19.9	1,901	△21.5
2019年3月期第3四半期	65,040	6.6	3,786	△17.3	4,255	10.3	2,422	1.3

(注)包括利益 2020年3月期第3四半期 2,278百万円 (△17.5%) 2019年3月期第3四半期 2,761百万円 (△6.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	232.48	—
2019年3月期第3四半期	300.34	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	53,230	38,858	64.2	4,154.72
2019年3月期	57,396	37,053	57.1	4,029.90

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 34,153百万円 2019年3月期 32,754百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2020年3月期	—	30.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期(予想)の期末配当金の内訳 普通配当30円00銭 記念配当10円00銭(創業100周年記念配当)

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	△4.3	5,000	1.1	5,100	2.0	3,200	△3.6	393.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	8,867,000 株	2019年3月期	8,867,000 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期3Q	646,504 株	2019年3月期	739,204 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	8,180,759 株	2019年3月期3Q	8,066,083 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中の貿易摩擦などにより、中国の景気が減速しました。わが国経済は、2019年10月に消費税率が10%に引き上げられました。また、輸出と生産は、弱含みで推移しました。労働力市場は、逼迫したままで実質的な完全雇用の状態にありました。当社グループ（当社および連結子会社）の主要原材料である銅の建値は、2019年10月以降やや上昇しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、銅相場が前年同期と比較して低い水準であったため、売上高は572億44百万円（前年同期比12.0%減少）となり、営業利益は、当第3四半期連結累計期間において銅相場が下落し、原料相場差損が発生したため、32億10百万円（同15.2%減少）となりました。経常利益は、主に、デリバティブ利益を1億43百万円（前年同期は57百万円）計上したものの、デリバティブ評価益は65百万円（前年同期は2億28百万円）にとどまったことと、前年同期に発生しなかったデリバティブ評価損を1億34百万円計上したため、34億7百万円（同19.9%減少）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は19億1百万円（同21.5%減少）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

## ①伸銅

伸銅事業では、販売量は7万4,336トン（前年同期比7.8%減少）となりました。売上高は466億93百万円（同14.2%減少）となり、セグメント損益は18億71百万円（同18.4%減少）のセグメント利益となりました。

## ②精密部品

精密部品事業では、売上高は28億85百万円（前年同期比12.1%減少）となり、セグメント損益は69百万円のセグメント損失（前年同期はセグメント利益1億97百万円）となりました。

## ③配管・鍍金

配管・鍍金事業では、売上高は76億66百万円（前年同期比4.4%増加）となり、セグメント損益は11億26百万円（同5.3%増加）のセグメント利益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は350億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億32百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金が27億11百万円、たな卸資産が19億83百万円減少したことによるものであります。固定資産は182億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億67百万円増加しました。これは主に、建物及び構築物が7億10百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は532億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億65百万円減少しました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は122億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億88百万円減少しました。これは主に、短期借入金が54億10百万円、賞与引当金が5億26百万円減少したことによるものであります。固定負債は21億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加しました。この結果、負債合計は143億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ59億70百万円減少しました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は388億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億5百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が19億1百万円であったことによるものであります。この結果、自己資本比率は64.2%（前連結会計年度末は57.1%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月9日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,437	1,129
受取手形及び売掛金	23,094	20,382
商品及び製品	4,961	4,456
仕掛品	5,087	4,312
原材料及び貯蔵品	5,034	4,330
その他	523	484
貸倒引当金	△83	△74
流動資産合計	40,054	35,021
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,337	11,312
減価償却累計額	△5,162	△5,426
建物及び構築物 (純額)	5,175	5,885
機械装置及び運搬具	21,331	21,996
減価償却累計額	△18,805	△19,517
機械装置及び運搬具 (純額)	2,526	2,479
土地	6,603	6,608
建設仮勘定	426	464
その他	1,631	1,801
減価償却累計額	△1,426	△1,507
その他 (純額)	204	293
有形固定資産合計	14,936	15,731
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	318	359
その他	17	28
無形固定資産合計	336	388
投資その他の資産		
投資有価証券	1,307	1,286
退職給付に係る資産	23	23
繰延税金資産	676	684
その他	63	94
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,069	2,088
固定資産合計	17,341	18,209
資産合計	57,396	53,230

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,460	5,957
短期借入金	7,600	2,190
未払金	540	645
未払費用	807	740
未払法人税等	507	353
賞与引当金	941	415
設備関係支払手形	465	600
その他	872	1,304
流動負債合計	18,195	12,206
固定負債		
長期借入金	42	—
繰延税金負債	349	347
再評価に係る繰延税金負債	280	280
退職給付に係る負債	1,226	1,312
その他	248	224
固定負債合計	2,147	2,165
負債合計	20,342	14,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,756	2,756
資本剰余金	4,340	4,340
利益剰余金	25,877	27,248
自己株式	△769	△699
株主資本合計	32,204	33,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30	△9
土地再評価差額金	565	565
為替換算調整勘定	△36	△43
退職給付に係る調整累計額	△9	△3
その他の包括利益累計額合計	549	508
非支配株主持分	4,299	4,705
純資産合計	37,053	38,858
負債純資産合計	57,396	53,230

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	65,040	57,244
売上原価	58,137	50,931
売上総利益	6,903	6,313
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	799	768
給料及び手当	804	803
退職給付費用	19	21
その他	1,493	1,508
販売費及び一般管理費合計	3,117	3,103
営業利益	3,786	3,210
営業外収益		
受取利息	1	4
受取配当金	23	25
デリバティブ利益	57	143
デリバティブ評価益	228	65
業務受託料	36	36
その他	187	120
営業外収益合計	535	396
営業外費用		
支払利息	8	7
為替差損	20	21
デリバティブ評価損	—	134
クレーム補償費	11	26
その他	25	9
営業外費用合計	66	199
経常利益	4,255	3,407
特別利益		
固定資産売却益	5	0
投資有価証券売却益	0	—
補助金収入	37	36
特別利益合計	42	36
特別損失		
固定資産除却損	0	14
固定資産売却損	38	—
投資有価証券売却損	—	0
その他	3	—
特別損失合計	42	14
税金等調整前四半期純利益	4,255	3,430
法人税等	1,373	1,108
四半期純利益	2,881	2,321
非支配株主に帰属する四半期純利益	458	419
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,422	1,901

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,881	2,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114	△42
為替換算調整勘定	△5	△7
退職給付に係る調整額	0	6
その他の包括利益合計	△119	△43
四半期包括利益	2,761	2,278
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,310	1,860
非支配株主に係る四半期包括利益	451	417



( 3 ) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

( 継続企業の前提に関する注記 )

該当事項はありません。

( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 )

該当事項はありません。

( 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 )

税金費用については、当第 3 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	54,417	3,282	7,341	65,040
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,058	51	0	3,110
計	57,475	3,333	7,342	68,151
セグメント利益	2,292	197	1,070	3,559

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,559
セグメント間取引消去	599
全社費用	△373
四半期連結損益計算書の営業利益	3,786

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	伸銅	精密部品	配管・鍍金	合計
売上高				
外部顧客への売上高	46,693	2,885	7,666	57,244
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,665	44	7	2,718
計	49,358	2,929	7,674	59,962
セグメント利益又は損失(△)	1,871	△69	1,126	2,929

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,929
セグメント間取引消去	616
全社費用	△334
四半期連結損益計算書の営業利益	3,210

(重要な後発事象)

該当事項はありません。